



HACHIOUJI ANIMALS PROTECTION NETWORK

八王子動物愛護会ネットワーク
HAPnet(ハフネット)



里親になってくださる方へ
知恵と勇気と思いやり

私たちは、傷ついたり捨てられてしまった犬や猫を保護した人たちの
里親探しの手助けをするためにも活動しています。
動物愛護の後進国日本において、身の回りの動物達の現状を変えたい、
どうにかしたい、ナニカ変だなと疑問に思っている方々へ。
私たちと一緒にできる事からはじめましょう。

あなたの優しさと勇気をお待ちしています。

誰かが拾ってくれるだろう！

誰かが育ててくれるだろう！

と、安易に捨てられた ^(ひとつの命) 犬 猫 達…。

保護されて、この里親会場に連れてこられたほんの一握りの ^(ひとつの命) 犬 猫 達…。

そんな犬猫達に暖かい手を差し伸べて頂きありがとうございます。

そんなやさしいあなたへ…。

猫は16年以上生きます。猫の一生があなたにかかるのだということを飼う前にもう一度、じっくり考えて下さい。

1. 猫を飼う条件（無計画に飼って後悔しない為に）

- ・ ペット可住宅であること。
- ・ 家族全員の同意が必要です。
- ・ 世話を毎日するのは誰ですか？（毎日の食事、手入れ、排泄の処理等）

2. 猫を飼うマナー

- ・ 飼ったら、家族同様の愛情を持って接することが大切。
- ・ 猫の本能、習性、生理を理解し「適正」に飼う。
（しつけられる所は怒らず、叱らず、ほめながらしつけ、習性を利用する工夫も大切です。）
- ・ 飼い始めたら終世飼養するように努めましょう。

3. 社会に対する責任とマナー

- ・ 不妊、去勢の手術をしましょう。（愛猫家のマナーです。）
- ・ 無責任な飼い主不明の猫にしないで下さい。
（他人の敷地で糞尿する、花壇や庭を荒らす、ゴミをあさる等近隣に迷惑をかけるもとです。）
- ・ 必ず完全室内飼いをおねがいします。（ベランダは条件付き。）
（伝染病、ノミ等の寄生虫に感染する機会が減りますし、交通事故も防ぎます。）
- ・ 適切な飼養管理をすること。
（臭気、抜け毛の処理などきちんとして衛生的に飼いましょう。）

※医療費などの予算をたてることは、難しいでしょうが

覚悟だけは必要です。

猫の為に貯金しておくことを お勧めします。

猫の生活必需品の準備とあなたのお家に迎え入れる準備をしていただきたいと思います。
生活必需品ですが、これがすべてではありません。
工夫できる物があれば代用することも考えて参考にして下さい。

- ・ キャリーバック
プラスチックコーティングしている物は尿などで汚れてもきれいに拭くことができます。
- ・ グルーミング用品
ブラシ、ノミ取り用のクシ
- ・ 猫用トイレ
トイレの数は？理想をいえば頭数プラス1なのですが……、トイレはいつも清潔にしてあげて下さい。汚れていたら躡がみだれたり、病気になってしまいます。
- ・ トイレ用の砂 or トイレシート
種類は色々ありますが猫の好みに合う物を用意してあげて下さい。
※（トイレ用の砂とシートを併用して使うと臭いはグ～ンと減ります。）
- ・ 食器
浅くて重みのある物が良いでしょう。キャットフード用と水飲用
（いつでも新鮮な水が飲めるようにしてあげて下さい。）
- ・ 爪とぎ器
これは消耗品です。古くなったら新しい物と取り替えてあげて下さい。
- ・ 爪切り・猫の草・マタタビ・オモチャ等
首輪が必要なら、伸びてはずれる素材のものがお勧めです。
ベッドが必要なら、まめに洗濯できるものにしてあげて下さい。

「猫を迎え入れる準備」とは…

事故は「もしかしたら」ではなく「絶対に」起こるものだと知りましょう。

- ・ 小さな隙間を塞ぐ。
段ボール等を利用して。
- ・ 割れ物、壊れ物をかたずける。
家中の水平面（床や棚の上）をチェックして、倒れる物は固定しましょう。
- ・ 事故を予防する
配線を壁に固定したり、コードの余り部分をまとめて包む。

※針、ビニール袋で窒息死することもあります。

毛糸製品を飲み込むと腸閉塞等になりかねません。

洗剤類、ペンキ類、除草剤、殺虫剤、薬なども危険です。

「トイレのしつけ」

猫の習性は…。

自分の縄張り内では、本来一定の場所で排泄する。済んだら砂をかける。

この習性を利用しましょう。

排泄物の臭いで刺激し、学習させるのです。猫は臭いのあるところに排泄を繰り返します。

しつけやすいトイレの場所とは？

排泄行為は猫が無防備になるので、安心してできる部屋の隅にしましょう。

余り離れすぎず、出来るだけ寝箱の近くがしつけにも楽です。

そして、一度決めて猫が来たら余り動かさないで下さい。

でも、位置を変えたいときは……。

毎日少しずつ都合の良い場所へ移動しましょう。

急に変えたら、しつけが乱れることがありますので、注意しましょう。

いくら教えてもそそうするときには……。

1. トイレの設置場所が適切ですか？

(部屋の隅の2～3カ所にトイレを用意し、どの場所のトイレを好むか様子を見るのも方法です。)

2. トイレの容器の大きさ、深さに問題ありませんか？

3. トイレの砂に猫が慣れていますか？

(急に砂のブランドを変えていませんか？)

4. トイレが汚れすぎてはいませんか？

(フード付きのトイレは中に臭いがこもりすぎ、いやがる猫もいます。)

5. 病気も考えられます。

(急性腎炎、急性膀胱炎、尿道閉塞症候群、等)

(獣医に相談しましょう。)

6. 猫がトイレに入っているときに、おどかしたりしたいませんか？

(人間なら「冗談だよ！」で通じますが、猫はそうはいきません。)

(怖い場所として学習してしまいます。)

※他に精神的ストレスで、部屋のあちこちに排泄して廻ることもあります。

こんな時は、一緒に遊んでかまってやる。

おもちゃで刺激を与える。

できるだけ広いスペースを解放し自由に行動させる。

可能なら二頭飼いをする。

猫に豊かな環境を与えてみて下さい。



「猫の爪とぎ」

爪とぎは猫の生理的要求です。

猫の爪とぎは野生時代からの習性ですから容易に止めさせることは、難しいものです。

たとえ、伸びた爪を切ってやっても、みがきます。

ですから猫の爪とぎは、やめさせるのではなく一定の場所（爪とぎ器）でやるように躱ましましょう。

市販の爪とぎ器にはまたたびが入っていますので、利用して教えると、たいていうまく習慣がつきます。

古くなると、爪とぎ器でやらなくなる場合があります。

古くなったら、新しい物に替えてあげましょう

しつけの手順

1. 爪とぎの現場を見たらダメとしかる。
（急いで爪とぎ器へ連れていく。）
2. とがないときは、猫の前足をつかんでとぐ仕草をする。
3. 自分から爪とぎでとぎ出したときは、ほめてあげる。
4. またたびの臭いで爪とぎするようになる。

「猫を迎え入れる準備」

爪とぎされて困る場所、物には段ボールなどを利用して防ぐ工夫をしましょう。

「もしかしたら」ではなく「絶対に」を忘れずに。

睡眠について

初日は特に妨げないように注意して！ 静かに眠らせてあげましょう。

もし、寂しくて鳴く猫なら、

しばらくそばで優しくいたわってあげてください。

※元親さんから、この猫の臭いのついたタオルなどを一緒にもらって寝床においてあげると安心します。

食事について

新しい環境や、疲れから余り食欲を示さないのが普通です。

食べない時でも、しばらく食器をおいて様子を見て下さい。

新鮮な水も忘れないで…。

※できるだけ元親さんが与えていた食事と同じ食事を用意してあげてください。

猫の年齢

1ヶ月

6ヶ月

1年

2年

3年

4年

5年

6年

7年

8年

9年

10年

11年

12年

13年

14年

15年

人の年齢

1才6ヶ月

9～10歳

20歳 ……※仔猫用の食事

24.5歳

29歳

33.5歳

38歳

42.5歳 ……※成猫用の食事

47歳 ……※7年目くらいからシニア用の食事

51.5歳

56歳

60.5歳

65歳

69.5歳

74歳

79.5歳

84歳

※年齢に合った食事を御願ひします。



トイレについて

あなたへのお願い

新しい環境に慣れるまで、寝床食事をする場所、トイレは1カ所にさせていただきたいのです。元親さんから、この猫の尿の臭いのついた砂などをもらっておいて下さい。

猫は、排泄物の臭いで刺激し、学習します。そして臭いのあるところに排泄を繰り返します。

元親さんから頂いた砂をトイレの中に入れて臭いをかがせましょう。

この時、前足を持ってカキカキさせておくと、よりしつけが上手くいくので知っておいて下さい。

尿はしても、便は緊張して2～3日しない事もあります。

様子を見てあげて下さい。

※排泄行為は、猫が無防備になるので、安心してできる部屋の隅にしてあげて！

猫がトイレの中にいるときは絶対おどかさないで！

ここで、あなたに御願いがあります。

気が済むまで抱いたり、さわったり、はしゃいだりしないで頂けますか？

猫の緊張と不安を増し、おびえさせてしまいます。

最初は猫を疲れさせたり、嫌われないようにあなたの方で、自重してやさしい態度で接してあげてください。

まず家についたら……

部屋の中でキャリーバックに入れたままにして落ち着かせましょう。

しばらく様子を見て…。

キャリーバックの扉を、そっと開けます。

※ この時、猫を引っぱり出さないで！ 自分からでるのを待ってください。

腰を落とし辺りの様子をうかがいながらまるで這うような姿勢ででてきたら……

※ 周囲を警戒しているときです。この時まだ声をかけたり抱いたりしないで！

キャリーバックから出た猫は……

※ 恐る恐る部屋のあちこちを嗅ぎ回り、探索行動をします。

やがて猫はその場所が危険でないことを知ると、

警戒心も減り落ち着くと普通の姿勢になります。

ここではじめてやさしく声をかけてみましょう。

※ 猫が声に振り向き、耳を斜め後ろにひき、すぐに視線を外してどこか隅に逃げ込むようなら、まだ慣れてません。

近づいてきたら

※ 声をかけながらやさしくなでてあげてください。

御願いです！

猫のいやがることは無理強いしないで下さい。

猫との接触時間を持ってあげて下さい。

猫と遊んであげて下さい。

猫が落ち着ける場所をつくってあげてください。

そうすると、慣れも急速に早まるんです。

また、食べ物を利用することも早く慣れさせる「コツ」なのです。



- ・「おかしい」と思ったら早めに獣医師に相談する。
病気の早期発見治療は費用も結局安くなる。
- ・安易な素人療法をしない。
簡単に治る病気をますます悪化させることもあります。
- ・定期的に健康診断を受ける。
病気は治療より予防が大事。
- ・予防注射は必ず受ける。
犬猫に多いウイルス病の予防注射があります。
受ける時期は獣医師に相談する。
- ・動物病院の診療時間は調べておく。
休診日、夜間の対応（急患の時）。
- ・病院へは電話して出かけるのが上手な方法。
特に緊急時には有効で診療の対応も早くなる。
- ・動物病院の待合室では人のペットにふれたりしない。
病気がペットにうつる危険もある。
- ・犬猫に代わって獣医師の問診にはできるだけ詳しく、
正確に答えられるようにしておく。
問診はとても大事な診療のひとつです。
- ・手術は予約して受ける。
緊急時は別として、準備も時間もかかるので殆どが予約制です。
必要なことがらは良く聞いて守りましょう。
- ・分からないことは気軽に相談しましょう。
病気の内容、家庭看護の方法など。
- ・動物の医療費には保険制度がありません。
費用の内訳は、診察料、治療費、手術費、検査費。
- ・通院するときは、必ず安全なキャリーバックに入れる、またはリードでつなぐ。
抱いたままだと、緊張や興奮から逃げ出すことがあります。

「最良の結果を期待しつつも、最悪の展開に対する準備を怠らない」
事を知っておきましょう。

猫は縄張り意識が非常に強いので、侵入者を喜んで迎え入れる方が不思議です。

- ・ツンとする ・体を膨らませる ・警戒する ・シーシー言う
- ・呻く ・高いところに登る ・急いで部屋から退場する

すべて正常な反応です。

※でも、こんな時は……

後猫をいじめる、遠慮する、元気や食欲をなくしたら……

※ 今まで以上にかまって、安心させてあげましょう。

- ・相手を攻撃する。
- ・忍び足で相手の後ろをつけ回す。
- ・待ち伏せする。

もし、どちらかがこのような態度に出たら……

※ 叱るのではなく、行動をはじめる前にやめさせます。

どうやって？

※ 本などの重い物をわざと床に落としたり、壁を叩いたり、何か急な音を立ててみましょう。

直接対面する前に……

お互いの匂いを確認し合う機会を作りましょう。

1. 部屋をひとつ、準備できるなら。

※ 数日間、扉越しに匂いをかがせる。

2. ケージをひとつ、準備できるなら。

※ 数日間、ケージ越しに匂いをかがせる。

3. 猫の匂いを混合させる。

※ 先住猫をタオルでこすってから同じタオルで後猫の体をこする。

(部屋をひとつと、ケージもひとつ用意できれば、理想的)

このようにしてお互いの匂いに慣れさせてから直接対面させるのが無難です。

対面させるときは、必ずあなたが側についておきましょう。

最悪の展開に対する準備も忘れずに！

「時間が経てばなんとかなる」と言う気持ちで、のんびりかまえていただけませんか？

